

## 台風対策(野菜)

### ●施設野菜

- 施設周囲の排水溝を整備し、大雨による雨水の浸入を防ぐ。
- 台風が通過したら被覆物はずし、生育の立て直しと病害虫予防のため葉面散布や追肥及び防除を行い、誘引をやり直す
- 支柱やネット等を張り直し、極力茎葉の損傷を防ぐ。台風通過後は、傷んだ茎葉を除去し追肥や葉面散布、防除を行って生育の立て直しを図る。
- 降雨が多く圃場が冠水すると、疫病などの病害が多発しやすいので、早期の排水を行うと同時に、防除を徹底する。

### ●ハウス等園芸施設

- 施設周囲に防風ネット等を設置する。
- ビニール等被覆資材の破れの補修や出入り口等、開口部の補強を行う。
- ハウスバンドを締め直し、らせん杭等の固定資材の確認を行う。
- 防風ネットやのり網等で被覆を行いビニールの破損を防ぐ。
- 施設本体は筋交いや丸太などで補強を行い、本体の揺れやきしみを防ぐ。
- 施設周囲の風で飛ばされやすいものは片づけておく。
- 換気扇がある場合は、施設を密閉し、ビニールのばたつきを防ぐ。



### ●露地野菜

- 圃場周囲や圃場内部の排水溝の整備を行う。
- マルチや支柱、誘引テープ、ネット等は、風雨で破損しないようしっかり固定する。
- 圃場周囲に防風ネット等を設置しておく。
- 大雨により浸冠水した場合は、早急に排水を行い、根傷み・根上りを防ぐ。



## 農薬安全使用のためのポイント

### ●散布作業前には

- 農薬のラベルをよく読む。  
(農薬のラベルの確認! 保管庫には、めがね、虫めがねを常備し、使用前に必ず確認。)
- 服装は完全装備にする。
- 機器は事前に点検する。
- 健康な人以外に作業はさせない。
- 農薬は他の物と分けて運ぶ。



### ●散布する時は

- 風向きを考える。  
(風上から風下に、風の強い日は散布を控える。できるだけ作物に近い位置で、適正な散布圧力、適正な散布量、周辺作物に注意。)
- 長時間の作業では休憩をとる。
- 薬剤が皮膚についた時は水洗いし、衣服を取り替える。
- 散布中の飲食等は避ける。



### ●散布後は

- 使用した容器、器具はよく水洗する。
- 使い残りの農薬は他のものと区別して保管する。
- 空容器は放置しないように注意する。
- 身体をきれいに洗い、休養をとる。
- 体調に異変を感じた場合は医師の診断を受ける。

